

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 408

政策体系	23	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農政課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 1. 農業費 - 4. 畜産業 現年		
事業名	畜産振興事業				
細事業名	各種団体会費・負担金・補助金				
評価表作成者				農林商工部 農政課	松本 宏樹

## 1. 事業の概要

府畜産協会負担金等

## 2. 事業の目的と必要性

- ①施策で目指す目標との関連付け  
南丹市の特産品として南丹ブランドの畜産物の推進を図る。
- ②事業を実施する必要性  
府内の畜産振興事業、関係行事への協賛や畜産諸情勢の把握、広報・指導事業を行う協会に会員として参画することで、畜産物のブランド化の推進及び販路の拡大につながるため必要である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	40	39	39	38	45	45	45
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	40	39	39	38	45	45
職員等の従事人員	人/年	—	0.05	0.05	0.07			
人件費	千円	—	249	254	434			
事業費総額	千円	—	288	293	473			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

亀岡市食肉センター管理組合枝肉共励会 8,430円(報償費)  
社団法人京都府畜産振興協会 30,000円(負担金)

## 5. 事業結果の概要

枝肉共励会へ賞状及び副賞を下附  
社団法人京都府畜産振興協会への負担金

## 6. 活動の詳細

(1)		
社団法人畜産振興協会 負担金	4月～3月	畜産振興の推進、情報提供等
(2)		
枝肉共励会 枝肉共励会へ賞状及び副賞を下附	12月	出品頭数28頭

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

畜産振興のソフト事業として有効であるため引き続き事業展開を図っていく。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

畜産振興のソフト事業として有効であるため引き続き事業展開を図っていく。

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
広報活動の重要性
- ②当該事業のアピール事項  
畜産振興のソフト事業として有効である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
特にありません。